

## 第 2 章

### めざす環境像と目標

1. めざす環境像
2. 実現に向けた目標
3. 施策の体系



■カノユリ(自然環境調査:植物分野より)  
本市の里山に咲く「市の花」カノユリ

## 1. めざす環境像

## 自然と歴史のふるさと 住みたいまち 宗像

宗像市は、城山や許斐山などの山々や市街地を取り囲む農地、玄界灘へと注ぐ釣川、海域には大島や地島、勝島、そして沖ノ島など、山林から田園、海、離島に至るまで、豊かな自然や歴史、文化に恵まれています。

この豊かな宗像の自然と歴史を、市民との協働によって守り、育て、創り、そして次の世代へとつなげていき、心が安らぐふるさとづくり、ずっと住みたいまちをめざします。

## ○めざす環境像と「第1次宗像市総合計画」

「第1次宗像市総合計画」では、人と人のつながりやコミュニケーションを大切にし、それぞれが役割と責任を果たしてまちづくりをめざすという「協働」「共生」「自律」の3つの基本理念によって、都市像「海・山・川に恵まれ、教育・文化と歴史がいきるコミュニティのまち宗像」づくりを進めていくとされています。

総合計画におけるまちづくりの将来像を、環境面から実現していくためには、豊かな自然や歴史・文化を基本に、市民や事業者(農業者や漁業者を含む)、行政が「協働」「共生」「自律」の基本理念をふまえつつ、環境の保全と創造に努めていく必要があります。

めざす環境像は、このような観点からこれからの環境行政の目標として定めたものです。

また、めざす環境像を実現するための環境分野ごとの目標は以下のように定めます。

環境分野	実現に向けた目標
(1) 自然環境	優れた自然と共生するために
(2) 生活環境	住み良いまちを持続するために
(3) 快適環境及び歴史・文化的環境	うるおいある地域を創るために
(4) 地球環境	美しい地球のために

## 2. 実現に向けた目標

めざす環境像の実現に向けた目標及び基本的な考え方は以下のとおりです。

### (1) 優れた自然と共生するために

→ 自然の恩恵に感謝し、「自然環境」を守っていく。

宗像市には、釣川を中心として、森林や田畑、ため池、離島や海岸など豊かで優れた自然が多く存在しています。この豊かな自然の恵みは、昆虫や野鳥など様々な生き物が暮らしていくための基盤となっています。

私たち市民は、美しい風景を眺めたり、生き物とふれあうなどの自然そのものの持つ恵みと、自然が育んだ食料や水などの恵みという両方の恩恵を受けていますが、いずれも豊かな大地や海など、地域の自然環境からもたらされる恩恵なのです。

特に、私たちの生命・健康維持の源である食料や水などは、自然との関わりの深い農林水産業の継続によって守られてきました。自然環境の保全や安心な食材の確保などのためには、農林水産業の振興は重要であり、自然の恵みだけでなく従事者の努力にも感謝すべきでしょう。

私たちはこの豊かな自然と共に暮らしていくために、釣川を中心とした取り組み(「釣川グリーンネット基本構想・計画」)や自然公園法など関連法に基づく整備を行います。また、同時に産業、特に第一次産業の振興に伴う環境の保全に努めていきます。

### (2) 住み良いまちを持続するために

→ 暮らしに必要な「生活環境」の整備を行い、次世代に引き継ぐ。

私たちの周りを取り囲む大気や生活に必要な水などは、私たちが生きていく上で基本的なものであり、かつ欠かすことはできません。私たちの健康で快適な暮らしが保証されるためには、生活に欠かせない環境が正常に保たれている必要があります。

そのためには、ごみなど廃棄物の適正処理や下水道整備の推進はいうまでもありませんが、ポイ捨てごみやペットのふん対策など生活型公害への対応、対策を行い、生活環境の更なる向上を図ります。

このような事業に加え、ごみ減量やリサイクルの推進、有効資源の再生利用、地産地消<sup>\*</sup>の推進などを行い、循環型社会を構築し、次世代にも住み良いまちを継続するよう維持向上に努めます。

<sup>\*</sup>地産地消：地域生産地域消費(地元生産、地元消費)の略語で、地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費すること。農林水産などの分野で使われることが多い。

### (3) うるおいある地域を創るために

→ “地域資源”を活用し「快適環境」「歴史・文化的環境」を創造する。

私たちの暮らすまちは、山や川を中心として、海や島々、森林や田畑、ため池、海岸など優れた自然が存在しますが、それだけではなく、先人たちが作りあげてきた歴史や文化など様々な地域が固有で持っている財産＝「地域資源」を多く有しています。また、農業・林業や水産業といった第一次産業も地域固有の資源となるもので、本市の特徴の一つといえます。

これらの地域固有の資源に加えて、公園に咲くきれいな花々、きらきらと輝く水面、美しい景色などの身近な緑や水辺は、私たちの暮らしにゆとりとうるおいを与えてくれます。

このように、まち全体が所有している共通の財産である地域資源を保全しつつ、有効に活用していきます。また、これらの財産を活かしながら、魅力のある美しい街並みを創り出すことによって、更にゆとりとうるおいのある地域づくりに努めます。

### (4) 美しい地球のために

→ 私たちにもできる「地球環境」に優しい小さなことから始める。

私たちは、戦後の復興から急速な高度経済成長を経て、便利で豊か、そして快適な暮らしを手に入れました。その反面、地球温暖化や砂漠化、酸性雨など地球規模での環境問題というしっぺ返しが起こり、日々深刻化しています。

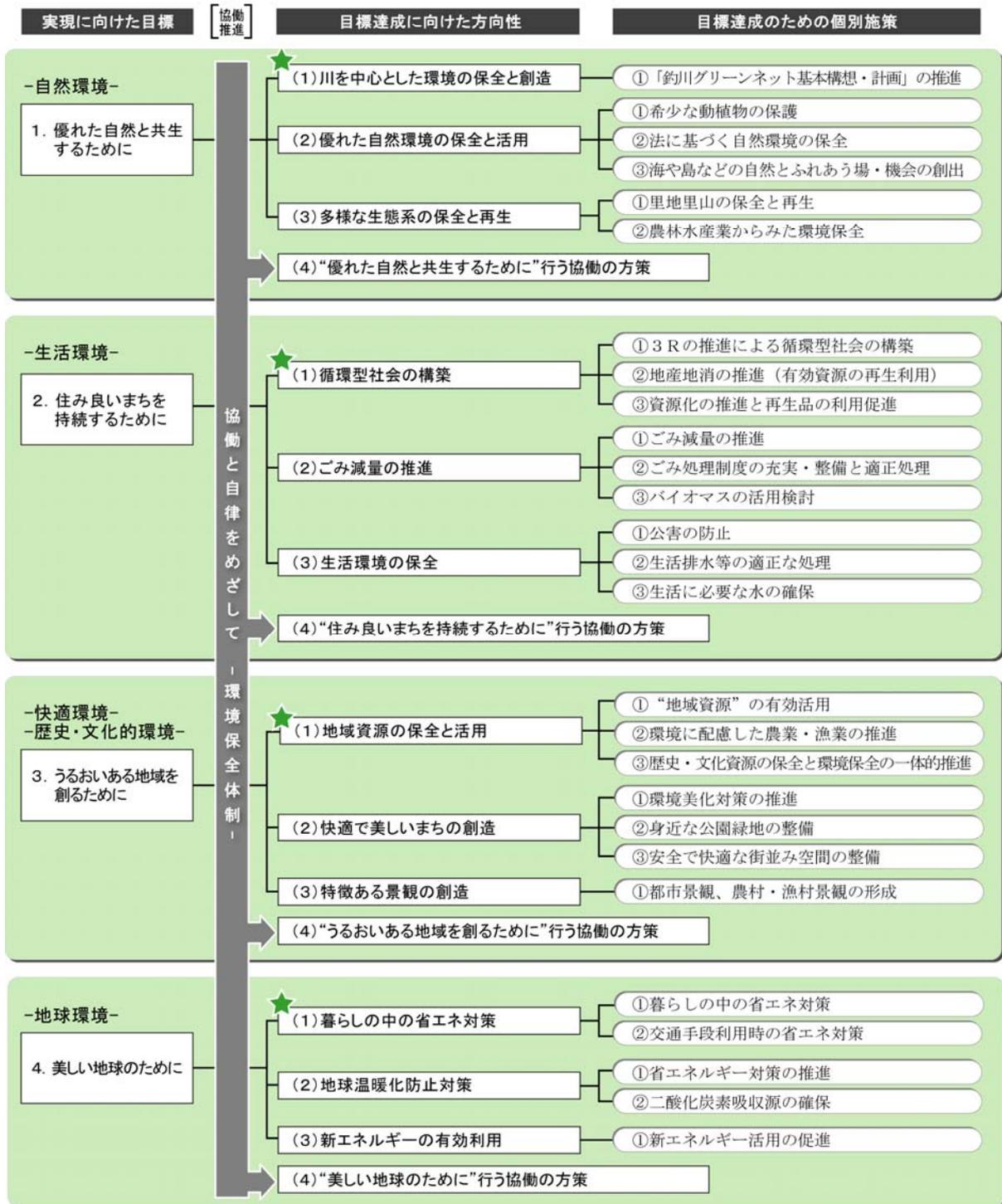
このような地球規模の環境問題は、私たちの日常生活とはかけ離れた、地球の反対側で起こっていると考えてしまいがちですが、近年の異常気象の発生状況をみても、地球温暖化は身近な問題として実感できるのではないのでしょうか。

私たちが家庭や地域でできる環境に優しい小さなことが、地球環境に対して大きな関わりをもたらすこと、そしてそれが私たちの住んでいる宗像市の環境にも反映していくということを、日常生活の中でみんなと一緒に考えていながら、この美しい地球を、そしてこの美しい宗像のまちを次世代に引き継いでいくように努めます。

### 3. 施策の体系

## めざす環境像

# 自然と歴史のふるさと 住みたいまち 宗像



★は、めざす環境像の実現に向けた目標を達成するための宗像市の特徴的な施策の方向性(第4章参照)